

令和6年度

学校だより

NO. 10

R7. 1. 24

まいづるの子

～ふるさとを愛し 羽ばたく子に～

甲府市立舞鶴小学校



編集 校長 小尾 俊彦

あけましておめでとうございます。2025年を迎え、3学期の学校生活も3週目が終わります。1年の中で最も寒いといわれる「大寒」を迎えましたが、厳しい朝の寒さの中でも元気に登校する子ども達の姿を見てたいへんうれしく思います。お子さんの体調管理をはじめ、インフルエンザなど、感染症予防対策にも留意していただきありがとうございます。短い3学期ですが、学びが止まることなく今年度のゴールを迎えられるように取り組んでいきますが、ご家庭でも引き続きのご協力をお願いいたします。

3学期スタートです

始業式では、こんな話をしました。

2025年がスタートしました。今年の干支は「巳年」です。へびは、脱皮を繰り返して成長していく様子から、復活と再生のシンボルとして縁起の良い動物とも言われています。今年、みなさんにはぜひ、一つ一つのことを全力で頑張り、確実に成長していく1年にしてほしいと思います。

まずは、今日から始まった3学期です。今日か明日くらいに3学期の目標を決めるとは思いますが、そのとき、何を、いつまでに、どうする…というゴールがイメージできる目標をつくってください。そのときに思い出してほしいのが、2学期の目標です。2学期の目標は達成できたでしょうか？ 何がどうなったら達成かわかりにくい目標だと、結局、達成したかどうか、よくわからなくなってしまいます。3学期の目標は、ぜひ、何がどうなったら達成かがわかる目標にしてください。

大きなゴールのイメージができれば、次は小さなステップを考えてください。小さなステップというのは、少しだけ頑張ればできそうなことです。それらを一つ一つクリアしていくことで、確実に3学期の目標を達成してください。それは、一つ一つ成長して大きくなっていく、まさにへびが脱皮をくり返して成長していくイメージです。

短い3学期ですが、1日1日を大切にしながら、一生懸命過ごしてほしいと思います。そうすることで、4月、素晴らしい新年度を迎えることができるはずです。頑張ってください。

始業式の中では、2、4、6年生の代表児童による冬休みの思い出と3学期にがんばりたいことの発表がありました。今年の夢や目標を、自信を持ってしっかりと全校のみんなに伝えることができました。

全校児童一人一人にとって、充実した3学期、夢あふれる新年度のスタート、そしてすばらしい1年になるよう心より願っています。



安全について考える

昨年の1月は、能登半島地震や航空機事故など、衝撃的なニュースがたくさんありました。今年も大雪や津波など心配なニュースがあり、子ども達の安全について、しっかり備えておかなければと感じます。

本校では、12月24日(火)に、安全に関する2つの活動を行いました。1つは、5年生が参加した「子供BOUSAI教室」、もう1つは「町別児童会・集団下校」でした。

「子供BOUSAI教室」は、甲府市役所地域防災課で実施している防災講座の一つで、他にも、親子防災教室(年に2回)なども実施しています。

当日はまず、担当の方から、災害の種類や避難の心得、各家庭において7日間生活ができるよう、食料、飲料水等の備蓄を…といったお話を聞きました。次に、グループに分かれ、備蓄品の説明やタンカ搬送についての詳しい説明を聞きました。会場となった体育館には、防災資機材等も設置していただき、子ども達は興味津々で見っていました。

「町別児童会・集団下校」は、まずは教室に集まり、2学期の反省、冬休み中の地域の行事などの確認、遊び場所で危険なところの確認などについて話し合いました。その後、校庭に集まり、教師が途中まで付き添う形の集団下校を実施しました。「町別児童会・集団下校」は今回で3回目ですが、協力して日々の登校を安全に心掛ける態度を養ったり、安全な登下校のために保護者、地域の方々に尽力していただいていることに感謝したりすることをめざしています。

今後の防災等の取り組みとしては、2月に予告なしの避難訓練を、学期末には新登校班長が先頭で歩き、6年生は後ろから見守るという取り組みを計画しています。災害や事故などの危険は、いつやってくるかわかりません。備品等もそうですが、気持ちの面でもしっかり備えるようにしたいと思います。

